

# まち活 「ナゴヤWalkingクラブ」 2022・1・18・tue 10:30(日泰寺コース) 【覚王山駅～日泰寺～城山八幡宮～本山駅】 日泰寺を中心に庶民的な覚王山商店街や城山の社寺をめぐる 覚王山駅4番出口集合 距離4.6km/時間61分

## ■大成寺



真宗大谷派の寺院で、気軽に訪れることができる寺院を目指し、様々なイベントやワークショップを行っています。春と秋には「青空サンガマーケット」を開催。子供向けの企画や、ジャズの生ライブなどを開催しています。

## ■方等院



(1386年)に清須にて創建され、(1610年頃)に清須越して名古屋に移転しました。本尊は弘法大師作で熱田神宮の奥の院愛染堂の本尊の余木で作られたという愛染明王像です。

## ■松楓閣



100年以上続く名古屋市内でも屈指の日本料亭の一つに数えられています。敷地は約1,500坪で、大・小20余りの部屋から構成され、数寄屋造りの建物と庭園の調和はすばらしいものです。

## ■千鉢地藏堂

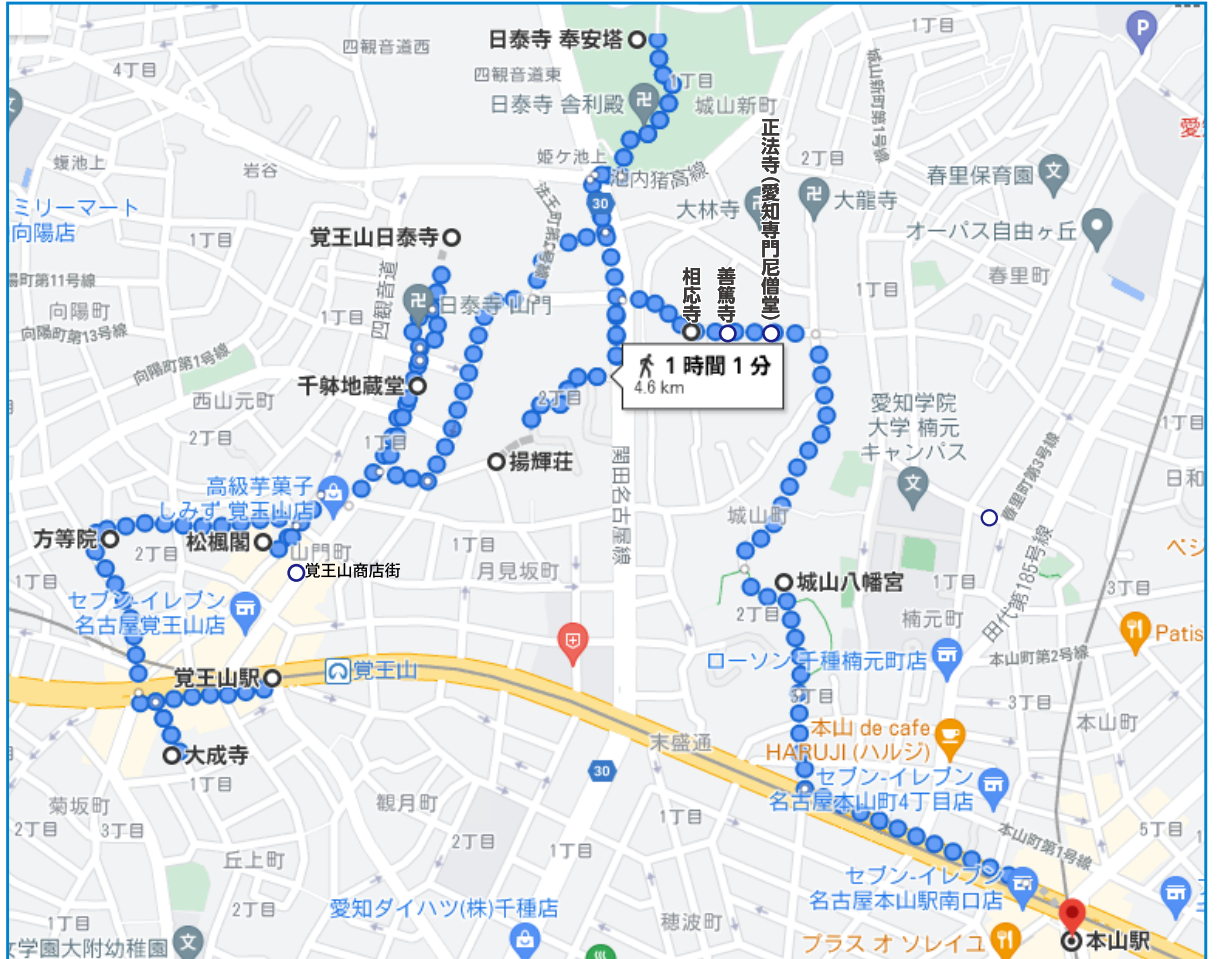


毎月21日の覚王山の縁日のときに開帳され、室内には錫杖と宝珠を持つ立像と延命地藏尊の2種の千体地藏がまつられております。

## ■覚王山商店街



門前町として形成された商店街で、休日を中心に地元の客や観光客で賑わいます。毎月21日には日泰寺の境内まで縁日が続きます。



## ■日泰寺



超宗派の寺院であり、タイ王国から寄贈された真舎利(釈迦の遺骨)を安置するために創建されました。覚王とは、釈迦の別名で「日泰」とは日本とタイ王国を表しています。

## ■善篤寺



善篤寺(曹洞宗)霊山と号し、応永年中に美濃国竹鼻(現、羽島市)に開創され、菩提寺と称する真言宗の寺院で、昭和13年に都市開発のために現在地に移転しました。

## ■日泰寺奉安塔



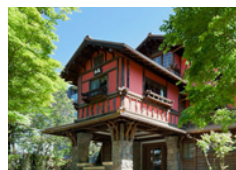
礼拝殿の奥には大正7年に建てられた奉安塔(県文化)があり、タイから贈られた釈迦の遺骨がおさめられています。珍しいガンダーラ式と呼ばれる白塔です。

## ■正法寺



昭和12年に佐治タイル創始者の娘が父の死を悼んで建立しました。昭和22年にわが国でも数少ない尼僧の学校である「第一尼学林」が現在地に移転し愛知専門尼僧堂が併設されています。

## ■揚輝荘



大正から昭和初期にかけて(株)松坂屋の初代社長である15代伊藤次郎左衛門祐民の別荘として、覚王山の丘陵地に建設されました。

## ■城山八幡宮(末盛城址)



日泰寺を中心としたこの地区は門前町としての面影や数々の寺院(尋盛寺・西蓮寺・台観寺・大龍寺・大林寺等々未記載)が点在しています。社寺巡りにも格好の地域です。

## ■相応寺



寛永20年に初代尾張藩主の徳川義直の生母であるお亀の方(相応院)の菩提を弔うために現在の東区に建立され、昭和7年に開発にともなって現在地に移転しました。

一般社団法人まちの活力創生協会

まち活  
MACHI-KATSU